

平成24年8月三木市教育委員会（定例会）会議録

◇ 日 時

- 1 開 会 平成24年8月22日（水）午後2時00分
- 2 閉 会 平成24年8月22日（水）午後4時30分

◇ 場 所 三木市役所 5階 大会議室

◇ 会 議

- 1 開 会
- 2 会議録署名委員の指名
- 3 前回会議録の承認
- 4 審議事項
議案第18号 平成25年度から平成27年度までの間に
使用する特別支援学校及び中学校特別支援
学級教科用図書の採択について
- 5 その他
- 6 閉 会

◇ 会議に出席した者の職氏名

教育委員	1番	教 育 委 員 長	里 見 俊 實
	2番	教育委員長職務代行者	水 島 慶 子
	3番	教 育 委 員	稲 見 秀 穂
	4番	教 育 委 員	井 口 徹
	5番	教育委員（教育長）	松 本 明 紀
事務局		教 育 部 長	椿 原 豊 勝
		教 育 総 務 課 長	清 水 正 則
		教 育 環 境 整 備 課 長	井 上 博 務
		学 校 教 育 課 長	古 谷 昭 文
		文 化 ス ポ ー ツ 振 興 課 長	松 村 正 和
		教 育 セ ン タ ー 副 所 長	岩 本 充 洋
		図 書 館 長	告 野 幹 也
		教 育 総 務 課 課 長 補 佐	石 田 寛

傍聴者 0人

◇ 会議内容

1 開 会

里見委員長が、平成24年8月三木市教育委員会定例会の開会を宣言した。

2 会議録署名委員の指名

里見委員長が、本日の会議の会議録署名委員に、稲見委員と井口委員を指名した。

3 前回会議録の承認

平成24年7月定例会会議録の承認について、稲見委員及び井口委員から一部表現について修正を求める発言があり、里見委員長がこのことについて委員に諮り、全員一致で承認された。

4 審議事項

【議案第18号】平成25年度から平成27年度までの間に使用する特別支援学校及び中学校特別支援学級教科用図書の採択について

○ 古谷学校教育課長が次のように説明した。

平成25年度から平成27年度までの間に三木特別支援学校及び中学校特別支援学級で使用する国語、数学、音楽の教科用図書の採択について、教育委員会の議決を求めるものである。

(委員) 教科用図書の選定にあたっては、北播磨採択地区協議会で教科用図書調査委員会を設置し、当該委員会で選定を行っているとのことであるが、その選定の過程を明確にすることが必要である。

(事務局) 今回、新たに選定したのではなく、昨年の北播磨採択

地区協議会で決定されていたものである。しかし、今回、来年度、実際に三木特別支援学校と中学校特別支援学級で当該の教科書を使う見通しとなったため、採択をお願いするものである。

里見委員長が、議案第18号について採決を行い、全員一致で原案のとおり可決された。

5 その他

(1) 報告事項

ア 学校教育課報告事項について

○ 古谷学校教育課長が次のように報告した。

校園長会を8月7日（火）に開催した。主要行事として、東播地区中学校総合体育大会が7月21日（土）から7月23日（月）に開催された。また、8月29日（水）に三木市中学校新人陸上大会を開催する。今後の予定として、9月15日（土）から平成24年度第2学期における市内中学校及び小・幼稚園で運動会・体育祭が開催される。については、教育委員等へ出席の依頼があった。

また、住民票は校区内にあるが、実際には校区外に居住している校区外居住等実態調査の結果について、該当者が15人である旨報告があった。平成24年7月末現在の生徒指導関係のまとめとして、小学校1件、中学校3件でいじめがあった旨報告があった。

委員から、いじめ問題に関し「平成24年度8月定例会提言及び質問資料（平成24年8月22日）」が提出された。

里見委員長から先ず、いじめの問題以外の質疑を行う旨提案があり、全員一致で了承された。

(委員) 校区外通学に関しては、学校校区自由化の議論がされた時期もあったが、どのような対応をしているのか。

(事務局) 正当な理由がある場合においては、校区外通学を許可している。

(委員) これは住民基本台帳法上の問題を含むことから、教育委員会としては適切な対応を願いたい。

(委員) 8月19日(日)に市民じんけんの集いが開催されたが、参加人数が少なかったことが残念である。参加人数は何人か。

(事務局) 今年の参加者は568名であり、昨年度は1072名であった。

(委員) 市民じんけんの集いでは、ポスターや標語及び作文の応募がそれぞれ5000点あったと聞いた。多数の応募作品の中から、あなたの作品が1番と聞けば子どもたちも大変喜ぶものである。その点についてアナウンスではうまく紹介されていたが、集いの資料にも掲載してほしかった。

(委員) その様な中から選ばれたことは、大変すばらしいことであり、今後も、子どもが喜ぶように、さらに改善してほしい。

(委員) 市は、人権尊重のまちづくりを進めているわけだが、先日の参加状況においては、その取組が充分とは言い難い。全庁的な取組が、今後一層必要である。

(委員) 今回のいじめに関する提案は、大津市で発生した事件を契機として、当教育委員会でもいじめに関する本質的な問題について議論するため提案した。

まず、三木市のいじめの現状と県教育委員会への報告について説明をお願いします。

(事務局) いじめの発生件数は、平成23年度は小学校4件、中学校7件の報告があった。平成24年7月末現在では、

小学校1件、中学校3件の報告を受けている。

また、県教育委員会へ報告した重要事案はない。

(委員) 大津市で発生したいじめ問題について、教育委員会事務局はどのように把握しているのか。

(事務局) 現在、最大の教育課題として、いじめ・不登校ゼロ事業に取り組んでいる。また、大津市の件を踏まえ、小中学校長研修会で、いじめ対応マニュアルに沿った適切な対応と早期発見を徹底するよう指示した。また、7月19日(木)には、臨時中学校長会を開催し、兵庫県警、三木警察署、各中学校長、補導委員、教育委員会事務局で問題行動やいじめ事案について、それぞれの立場から現状を報告し、今後の連携した取組体制を確認した。

(委員) いじめ問題について、教育委員会事務局及び学校教職員は議論したのか。

(事務局) 校長会を通じ未然防止、早期発見、早期対応を徹底した。特に、いじめのない学校づくりを重点化し、決していじめを許さない姿勢を見せるよう指示した。また、子どもからの小さなサインを見逃さないために、カウンセリングマインド研修会を各校で実施する予定である。

(委員) 生徒指導関係の資料にあるいじめの発生件数と生徒へのアンケート調査によるいじめの発生件数に大きな乖離があるが、この現実を認識しなければならない。

いじめ問題への対応は、事象が発生してからでは遅いのであり、教職員の早期発見、早期対応が肝心である。それと教職員がいじめと犯罪(事件)の見極めができるかどうか重要である。この判断については大変難しい。しかし、犯罪(事件)となれば、やはり警察に対応してもらわなければならない。

先日、新聞の読者の欄に掲載されていたが、「大津市のいじめ問題については、学校及び教育委員会の対応のみが

非難されているが、これは親（保護者）の問題であり、なぜ、親は、もっと子どもをしっかりと躡して育てないんだ」とあった。三木市教育委員会でも「家庭教育の3年」として取り組んでいた。もっと家庭や保護者がしっかりしないといけない。

イ 教育センター報告事項について

○ 岩本教育センター副所長が次のように報告した。

各種研修の開催状況、教育相談及び今後の研修予定については表のとおりである。また、青少年センターでは、今後の予定として、「人の目の垣根隊」の研修会を9月19日（水）に予定している。

ウ 文化スポーツ振興課報告事項について

○ 松村文化スポーツ振興課長が次のように報告した。

美術館に絵画の寄贈を受けたため、三木市教育委員会顕彰規則に基づき被表彰者として2名を決定した。

また、国の史跡指定にかかる意見具申について、7月末に県教育委員会を經由し文化庁に提出した。

その他、各事業の実施状況として、第26回市吹奏楽祭、バレーボール選手強化練習会、卓球ジュニア選手強化練習会、水泳選手強化練習会について報告した。

エ 図書館報告事項について

○ 告野図書館長が次のように報告した。

8月8日（水）に第3回（仮称）三木市立中央図書館建設検討委員会として、滋賀県東近江市八日市図書館及び湖東図書館を先進地視察した。第4回委員会を9月18日に開催予定である。

(2) 次回定例教育委員会の開催日時について

里見委員長が、次回の定例教育委員会の開催予定日時について諮り、平成24年9月19日（水曜日）、午後2時から開催することを決定した。

6 閉 会

里見委員長が、平成24年8月三木市教育委員会定例会の閉会を宣言した。